

四二	三九	三四	三〇	二七	二〇	一九	一二	一一	一一	九	三	小引	頁	正誤表
九	二	一〇	一〇	一一	七	七	一二	一四	八	一	一	四	行	
社	興	類	贈	低	唯	帝	臺灣人	享	離	立	食	款	誤	
社	興	數	贈	抵	雖	常	臺灣島	享	難	定	貧	割	正	

小引

本調書ノ初メテ作成セラレタルハ明治四十三年條約改竊前ノコトニシテ條約改正調査報告第九號トシテ發表セルモノナリ爾來既ニ十有餘年ヲ經過シ法令ノ改廢セラレタルモノ亦尠シトセス乃チ是等法令ノ改廢ニ從ヒ現行法ニ基キテ右調書ニ修正増補ヲ加ヘテ本書ヲ爲セリ今執務上ノ便宜ヲ慮リテ款闕ニ附ス

大正十三年六月

第四 國家ノ保護請求權.....	一八
一 立法上ノ保護請求權	二
二 司法上ノ保護請求權	一八
三 行政上ノ保護請求權	二〇
第五 參政權.....	二〇
第六 刑事關係.....	二一
第七 犯罪人及脱船人引渡.....	二二
第二節 公法上ノ義務.....	二三
第一 兵役ノ義務.....	二三
第二 納税ノ義務.....	二四
第三 其ノ他ノ義務.....	二五
第二章 私法上ノ權利義務.....	二六
第一節 財産權.....	二七
第一 物 權.....	二七
(イ) 土地所有權	
(ロ) 永代借地權	
(ハ) 質權抵當權	
第二 債 權.....	三一
第三 智能的財産權.....	三一
(イ) 著作權	
(ロ) 工業所有權	
第四 株式所有權.....	三六
第五 船舶所有權.....	三七
第六 航空機所有權.....	三八
第二節 身分權.....	三九
第一 親族權.....	三九
第二 相續權.....	四〇
第三節 外國法人.....	四一

二

許可ヲ受クルニアラサレハ從前ノ居留地及雜居地以外ニ於テ居住シ又ハ業務ヲ行フコトヲ得ス
 云々ト規定シ其ノ施行細則(明治三二年内、省令第四二號)ハ前掲ノ勅令ニ所謂勞働者トハ農
 業、漁業、鑛業、土木建築、製造、運搬、挽車、仲仕業及其ノ他ノ雜役ニ關スル勞働ニ從事ス
 ルモノナル旨ヲ明示シ家事ニ使用セラレ又ハ炊爨若ハ給仕ニ從事スル者等ヲ包含セサルコト及
 勞働者ニ與ヘタル許可ハ公益上必要ト認メラルルトキハ取消スコトヲ得ヘキコトヲ定ム
 外國人入國ニ關スル件(大正七年内、省令第一號)ハ本邦ニ渡來スル外國人ニシテ左記各號ノ一
 ニ該當スルモノト認ムル者ハ地方長官(東京ニ於テハ警視總監)ニ於テ其ノ上陸ヲ禁止スルコト
 ヲ得ヘキヲ規定ス(第一條)條約ノ有無ヲ論セス

- 一 旅券又ハ國籍證明書ヲ所持セサル者但シ旅券又ハ國籍證明書ハ本人ノ寫眞ヲ添附シ本國官
 憲ノ發給ニ係リ且本邦上陸前一年以内ニ在外帝國大使又ハ領事ノ查證ヲ經タルモノニ限ル
- 二 帝國ノ利益ニ背反スル行動ヲ爲シ又ハ敵國ノ利便ヲ圖ル虞アル者
- 三 公安ヲ害シ又ハ風俗ヲ紊ル虞アル者
- 四 浮浪又ハ乞巧ノ常習アル者
- 五 各種傳染病患者其ノ他公衆衛生上危險ナル疾患アル者

六 心神喪失者、心神耗弱者、貧困者其ノ他救助ヲ要スヘキ虞アル者

(參照)

- 外國人渡來ニ關スル件(大正七年内、府令第一四號)
- 外國人入國ニ關スル件(大正七年臺、府令第七號)
- 外國人取締規則(大正七年關、府令第一五號)
- 外國人入國ニ關スル件(大正七年權、廳令第二號)
- 海港檢疫法(明治三二年法第一九號)
- 宿泊届其ノ他ノ件(明治三二年内、省令第三二號)
- 外國人取扱規則(明治三二年臺、府令第七一號)
- 精神病者監護法(明治三三年法第三八號)
- 領事官職務規則(明治三三年勅第一五三號)
- 俘虜及拿捕船舶ノ乗員竝之ニ準スヘキ者ノ給與ニ關スル件(明治三七年勅第五〇號)
- 俘虜勞役規則(明治三七年陸、達第一三九號)
- 支那勞働者取締規則(明治三七年臺、府令第六八號)

關東州在留者取締規則(明治三九年關、府令第八號)
海外諸港又ハ臺灣ヨリ來ル癩患者取扱ニ關スル件(明治四〇年勅第二九四號)
宿泊及居住規則(明治四四年朝、府令第七五號)

四

外國人勞働從事者取締方(明治四三年統監府令第五二號)
外國人勞働從事ノ種類及許可方(明治四三年朝、府令第一七號)

二 身體、信教、言論、著作、印行、集會、結社ノ自由

一 身體ノ自由ニ關シ日英通商航海條約第一條第六號ハ其ノ身體及財産ニ對シテハ常ニ完全ナル保護及保障ヲ享受スヘキコトヲ規定ス

二 信教ノ自由ニ付舊通商條約ハ良心ノ自由トシテ之ヲ規定セシモ現行條約中此ノ點ニ關スル明文ノ存スルハ南米諸國トノ通商航海條約ニ於テ見ルノミ(日伯修好通商航海條約第一一條)他ハ之ヲ省略ス

(參照)

神佛道外宗教宣布及堂宇等設立ニ關スル規程(明治三二年内、省令第四一號)

三 言論ノ自由ニ付テハ條約及國內法上何等ノ規定ヲ見ス

四 著作、印行ノ自由ニ付テハ内外人ノ區別ナク之ヲ保護ス著作權法(明治三二年法第三九號)ハ外國人ノ著作權ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外本法ノ規定ヲ適用スヘキコトヲ規定ス(第二八條)
又印行ノ自由ニ付テハ舊新聞紙條例(明治二〇年勅第七五號)ハ外國人ノ新聞紙ノ編輯人、發行人、印刷人トナルコトヲ禁シタリシカ明治三二年法第五號ヲ以テ一部改正ノ結果之カ禁止ヲ解キタリ現行新聞紙法(明治四二年法第四一號)ニハ明文ナキモ外國人ニ對シ制限ナキモノト解スヘシ

五 集會、結社ノ自由ニ付テハ內國人ト同様ノ待遇ヲ受ク但シ日本臣民ニアラサル者ハ政治上ノ結社ニ加入シ又ハ公衆ヲ會同スル政談集會ノ發起人タルコトヲ得ス(治安警察法(明治三三年法第三六號)第六條)

三 所有、信書、住所ノ不可侵

日英通商航海條約ハ內國臣民ト同一ノ方法ヲ以テ必要ナル家屋、製造所、倉庫、店舖及附屬構造物ヲ所有シ又ハ賃借シテ之ヲ使用シ得ヘキコトヲ規定シ(第一條)又家宅、倉庫、製造所及店舖竝一切ノ附屬構造物ニシテ適法ノ目的ニ使用セララルルモノハ不可侵ニシテ其ノ臨檢、搜索、帳

五

簿、書類ノ検査、點閱ハ全テ内國臣民ト同一條件ニ依ルヘキコトヲ規定ス(第三條)
 信書ニ付テハ歐米諸國トノ間ニ多數ノ條約アリテ内外人平等ノ待遇ヲ爲ス
 (參照)

六

- 萬國郵便條約及最終議定書(大正一〇年條第七號)
- 價格表記、信書、書狀及箱物交換約定並最終議定書(大正一〇年條第八號)
- 小包郵便物交換條約及最終議定書(大正一〇年條第九號)
- 郵便爲替業務約定及最終議定書(大正一〇年條第一〇號)
- 郵便振替業務約定及最終議定書(大正一〇年條第一一號)
- 墨西哥合衆國ト小包郵便物交換條約(明治四三年條第一號)
- 墨西哥合衆國ト郵便爲替業務條約(明治四三年條第二號)
- 大不列顛及愛爾蘭聯合王國郵政廳ト締結ノ小包郵便物交換ニ關スル約定(明治四〇年條第二號)
- 香港郵政廳ト小包郵便物交換約定(明治四〇年條第三號)
- 海峽殖民地郵政廳ト小包郵便物交換ニ關スル約定(明治四二年條第二號)
- 亞米利加合衆國ト小包郵便條約(明治三七年勅)

- 同修正條約(大正二年條第四號)
- 濠洲聯邦郵政廳ト小包郵便物交換ニ關スル約定(明治三九年勅)
- 日本帝國遞信省及英領加奈陀郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定(大正三年條第五號)
- 萬國電信條約書(明治一二年布告第四五號)
- 海底電信保護萬國聯合條約(明治一八年布告第一七號)
- 同說明書(明治二〇年勅)
- 同罰則(大正五年法第二〇號)
- 俘虜郵便規則及爲替規則(明治三七年遞、省令第一三、一四號)
- 刑法第一三三條
- 日支間郵便物交換ニ關スル約定(大正一二年外、省告示第二號)

第二 營業權

一 普通商工業

本邦ニ於テ外國人ハ一定條件ノ下ニ内國人同様ニ商工業ヲ營ムノ權利ヲ享有シ各國トノ條約ハ

兩締約國ノ間ニハ通商航海ノ自由アルコトヲ明言セリ例ヘハ日英通商航海條約第六條ノ如シ唯
 特種ノ營業(質屋、銃砲火藥販賣、藥品藥種販賣、阿片、屠獸營業等)ニ關シテハ各特別法ノ
 定ムル所ニ從ヒ内國人同様本邦當該官廳ノ免許ヲ要ス

(參照)

條約若ハ慣行ニ依リ居住ノ自由ヲ有セサル外國人ノ居住及營業ニ關スル件(明治三二年勅第
 三五二號第一條)

古物商取締法(明治二八年法第一三號)
 質屋取締法(明治二八年法第一四號)

銃砲火藥類取締法(明治四三年法第五三號)
 藥品營業並藥品取扱規則(明治二二年法第一〇號)

阿片法(明治三〇年法第二七號)
 屠場法(明治三九年法第三二號)

二 農 業

外國人ハ帝國臣民ト同様地上權、永小作權及借地權ヲ享有シ得ルニ依リ(物權ノ項參照)此等ノ

權利ヲ設立シテ農業ヲ經營シ得ルモ條約上ニ於テハ單ニ借地ニヨリ農業其他ノ産業ヲ經營シ得
 ヘキヲ規定ス(日英條約第一條第四號參照)

三 銀行業

銀行條例(明治二三年法第七二號)ハ外國人ノ銀行營業ヲ禁止セス加之同施行細則(大正五年大、
 省令第一〇號)第四條ハ本邦ニ於テ外國會社ノ支店カ銀行業ヲ營ムヘキコトヲ豫想シ認可申請
 ニ關スル規定ヲ設ケタリ但外國人ハ特種銀行ノ株主トナルコトヲ得ス(株式所有權參照)

四 信託業

信託業ハ主務大臣ノ免許ヲ受ケ且資本金百萬圓以上ノ株式會社ニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス
 故ニ外國人モ此ノ制限ニ服スルニ非サレハ信託業ヲ營ムコトヲ得ス

(參照)

信託法(大正一一年法第六二號)
 信託業法(大正一一年法第六五號)

五 保險業

保險業ハ株式又ハ相互會社ニ非サレハ之ニ從事スルコトヲ得ス故ニ外國人ハ此ノ制限ニ從フニ

非サレハ保險業ニ從事スルコトヲ得ス

外國人又ハ外國會社ハ帝國内ニ支店又ハ代理店ヲ設置シ大藏大臣ノ許可ヲ經テ保險業ヲ經營スルコトヲ得但シ本邦被保險人ノ利益ヲ擔保スル爲生命保險ヲ目的トスルモノハ十五萬圓損害保險ヲ目的トスルモノハ十萬圓ヲ供託スルコトヲ要ス

(參照)

保險業法(明治三三年法第六九號)第一一五條

外國保險會社ニ關スル件(明治三三年勅第三八〇號)

外國保險會社ニ關スル件(大正元年農、省令第三〇號)

外國保險會社ニ關スル件(大正十二年農、府令第二三號)

外國相互保險會社登記簿原本抄本請求等ニ關スル手数料額(明治三三年司、省令第三六號)

外國相互保險會社ニ關スル登記事務取扱所(明治三三年司、省令第三八號)

六 運送業

外國人ニハ鐵道布設權ヲ許サズ從テ鐵道ニ依リ營ムヘキ運送業ニハ從事スルコトヲ得ス但シ外

國人ハ私設鐵道會社ノ株式ヲ所有スルコトヲ得

海上運送業(沿岸貿易ヲ除ク)ニ付テハ外國人ハ內國人ト同一ノ待遇ヲ受ク各國トノ條約ハ締約

國間ニ於テ通商航海ノ自由ナルコト及開港場間ニ往來ノ自由、通商航海ニ關スル取立金及輸出入税其ノ他船舶繫留、貨物積卸ニ對スル國民又ハ最惠國待遇ヲ保障ス(日英通商航海條約第六、

七、八、一〇、一七條)

(參照)

郵便法(明治三三年法第五四號)第二條

水難救護法(明治三二年法第九五號)

同取扱手續(明治三二年法第六號)第四、八條

遠洋航路補助法(明治四二年法第一五號)

七 沿岸貿易

本邦ハ外國人ニ沿岸貿易ヲ許與セサルヲ原則トス日英條約第二一條ハ「沿岸貿易ハ本條約ノ規定スル限ニ在ラス日本國及聯合王國各自ノ國法ノ定ムル所ニ依ル但シ締約國ノ一方ノ臣民及船舶ハ本件ニ關シ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ最惠國待遇ヲ享受スヘキモノトス尤モ日本船舶及大不

列強船舶ハ外國ヨリ積載シ來リタル旅客又ハ貨物ノ全部又ハ一部ヲ陸揚セムカ爲或ハ外國ヲ
 目的トスル旅客又ハ貨物ノ全部又ハ一部ヲ積載セムカ爲一ノ港ヨリ他ノ港ニ航行スルコトヲ
 得

一一

又締約國ノ一方ノ沿岸貿易カ内國船舶ニ全然留保セラルル場合ニ他ノ一方ノ船舶ニシテ右留保
 セラレタル沿岸貿易ノ區域外ニ在ル地トノ貿易ニ從事スルモノハ該區域外ノ地ヨリ來リ又ハ之
 ニ到ルヘキ通シ切符ヲ所持スル旅客又ハ通シ船荷證券ヲ有スル商品ヲ前記締約國ノ一方ノ二港
 間ニ運輸スルコトヲ禁止セラレサルヘク且右運輸ニ從事スルニ當リ該船舶及其ノ貨物ハ總テ本
 條約ノ規定スル特權ヲ享有スヘキモノトス」ト規定ス

船舶法(明治三二年法第四六號)第三條ハ「日本船舶ニ非サレハ不開港場ニ寄港シ又ハ日本各港
 ノ間ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲナスコトヲ得ス」ト規定セリ

(參照)

條約諸外國人臺灣人ニ通商航海方(明治二九年外、省告示第一號)

開港々則(明治三一年勅第一三九號)

同施行細則(明治三一年遞、省令第一六號)

内地臺灣及樺太ト朝鮮トノ間ニ通航スル船舶及物件ノ檢疫及取締ニ關スル件(明治四三年勅
 第三三三號)

帝國ト關東州トノ間ニ通航スル船舶ニ關スル件(明治三九年勅第二三六號)

朝鮮船舶令(大正三年制第七號)

臺灣船舶規則(明治三一年律第四號)

關東州船舶令(明治四四年關、令第三五號)

南洋群島ニ於テ開港ト爲スヘキ場所及其ノ開港ニ於テ輸出又ハ輸入スヘキ貨物ノ種類ニ關ス
 ル件(大正十一年南、廳令第一三號)

八 漁 業

本邦ハ外國人ニ領海漁業ヲ許與セス又外國人ハ遠洋漁業獎勵金ヲ受タルコトヲ得ス(遠洋漁業
 獎勵法第二條)

(參照)

日露漁業條約(明治四〇年條第五號)

九 移民業

本邦ニ於テ外國人ハ移民業ニ従事スルコトヲ得ス移民保護法(明治二九年法第七〇號)第七條ハ帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若ハ株主トスル商會社ニシテ帝國ニ主タル營業所ヲ有スルモノニ非サレハ移民取扱人タルコトヲ得サル旨ヲ規定ス

一四

十 鑛業

本邦ハ外國人ニ鑛物ノ試掘探掘及之ニ附屬スル事業竝ニ砂鑛採取業ヲ許サス但シ朝鮮ニ於テハ併合前ヨリ營ミタルモノニ限り之ヲ許容ス

(參照)

鑛業法(明治三八年法第四五號)第五條

帝國臣民又ハ帝國法律ニ從ヒ成立シタル法人ニ非サレハ鑛業權者トナルコトヲ得ス

砂鑛法(明治四二年法第一三號)第二三條ハ砂鑛業ニ關シ鑛業法第五條ヲ準用スヘキコトヲ規定ス

臺灣鑛業規則(明治三九年律第一〇號)第四條

帝國臣民又ハ帝國法律ニ從ヒ成立シタル法人ニ非サレハ鑛業人トナルコトヲ得ス

朝鮮鑛業令(大正四年制第八號)第六條

帝國臣民又ハ帝國法令ニ從ヒ成立シタル法人ニ非サレハ鑛業權ヲ享有スルコトヲ得ス

同令第五九條

本法施行ノ際外國人又ハ外國法人カ享有スル鑛業權ニ付テハ第六條ノ規定ヲ適用セス但シ帝國臣民又ハ帝國法令ニ從ヒ成立シタル法人カ其ノ鑛業ヲ承繼シタルトキハ此ノ限ニ在ラス朝鮮ニ於テ鑛業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル外國法人ハ朝鮮内ニ本店ヲ設クルニ非サレハ前項鑛業權ヲ承繼スルコトヲ得ス

十一 取引業

本邦ハ外國人ニ各種取引所ノ會員又ハ取引所員トナルコトヲ許サス取引所法(明治二六年法第五號)第一一條第一項ハ「帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル會社ニ非サレハ取引所ノ會員又ハ取引員トナルコトヲ得ス」ト規定シ法人ニ付テハ「合名會社、合資會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ其ノ無限責任社員ノ全員カ帝國臣民タルモノ株式會社ニ在リテハ其ノ資本ノ半額以上及議決權ノ過半数カ帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル法人ニ屬シ其ノ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員ノ全員カ帝國臣民タルモノニ非サレハ會員又ハ取引員トナルコトヲ得ス無限責任社員又ハ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員中前二項ニ該當スル者アル場合亦同シ」

一五

ト規定ス

第三 職業

職業中本邦臣民ニ非サレハ本邦ニ於テ從事スルコト能ハサルカ又ハ特定ノ條件ヲ以テ外國人ニ許
與スルモノ左ノ如シ

一 教師

外國人ハ本邦官公立學校ノ教師タルコトヲ得サルヲ原則トス但小學校以外ニ於テ外國人ヲ僱
スルコトヲ妨ケス且外國人ハ本邦法令ニ從ヒ私立學校ヲ設立シ内外人ニ教育ヲ施スコトヲ得
ヘシ

(參照)

帝國大學及文部省直轄學校雇外國人ニ關スル件(明治二六年勅第九六號)

文部省直轄學校外國人特別入學規程(明治三四年文、省令第一五號)

支那人ヲ入學セシムル公私立學校ニ關スル規定(明治三八年文、省令第一九號)

二 辯護士、公證人

外國人ハ辯護士又ハ公證人トナルコトヲ得ス

辯護士法(明治二六年法第七號)第二條ハ日本臣民ニシテ民法上ノ能力ヲ有スル成年以上ノ男子
タルコト又公證人法(明治四一年法第五三號)第一二條ハ帝國臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコ
トヲ其ノ一要件トセリ

三 水先人

外國人ハ本邦水先人タルコトヲ得ス水先法(明治三二年法第六三號)第二條ハ帝國臣民タルコト
ヲ水先免狀授與ノ一要件トセリ

四 醫師、藥劑師、產婆

醫師ニ付テハ內務大臣ニ於テ指定シタル外國ノ國籍ヲ有スルモノニシテ其ノ本國ニ於テ本邦ノ
醫術開業ヲ認ムル場合ニハ帝國ニ於テモ亦其ノ外國人ノ醫術開業ヲ免許ス即チ相互主義ニ依ル
ナリ

獸醫、齒科醫、藥劑師及產婆ニ付テハ外國人ハ本國其ノ他ノ國ニ於テ其ノ免許ヲ得タル場合ニ
ハ本邦ニ於テモ亦之ヲ開業スルコトヲ許可スルコトアルヘシ

(參照)

醫師法(明治三九年法第四七號)

醫師法第一條第三號ニ依リ免許ヲ與フル者ニ關スル件(明治三九年勅第二四四號)(明治三九年內、省令第三〇號大正六年內、省令第三號改正)

藥品營業並藥品取扱規則(明治三二年法第一〇號)

齒科醫師法(明治三九年法第四八號)

齒科醫師法第一條第三號ニ依リ免許ヲ與フル者ニ關スル件(明治三九年勅二四五號)

獸醫免許規則(明治三三年法第七六號)

產婆規則(明治三二年勅三四五號)

醫師規則(大正二年朝、府令第一〇〇號)

第四 國家ノ保護請求權

一 立法上ノ保護請求權

立法上ノ保護請求權(帝國議會ニ請願ヲナスノ權)ハ帝國臣民ノ特權ニシテ外國人ニハ之ヲ與セズ
(參照)

憲法第三〇、五〇條

議院法第六二乃至七一條

貴族院規則第一二七乃至一三七條

衆議院規則第四八乃至一五九條

二 司法上ノ保護請求權

一 在留外國人ハ民、刑訴訟ニ關シ國民待遇ヲ受ク日英通商航海條約第一條第六號ハ「其ノ身體及財產ニ對シテハ帝ニ完全ナル保護及保障ヲ享受シ其ノ請求及權利ヲ主張擁護セムカ爲自由且容易ニ裁判所其ノ他ノ官廳ニ申出ツルコトヲ得且内國臣民ト均シク右裁判所及官廳ニ於テ自己ヲ代理セシムカ爲爲代理人及辯護士ヲ選擇使用スルノ完全ナル自由ヲ享有シ其ノ他司法ニ關スル一切ノ事項ニ付一般ニ内國臣民ト同一ノ權利及特權ヲ享有スヘキ」コトヲ規定ス

(參照)

民事訴訟法(明治三三年第二九號)第四四、八八、九二、三三五、五一四、五一五條

外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法(明治三八年法第六三號)

外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル件(明治三二年法第五〇號)

關東州裁判令(明治四一年勅第二二二號)

關東州裁判事務取扱令(明治四一年勅二二三號)

三 行政上ノ保護請求權

關稅訴訟ニ關シテハ外國人ハ關稅法(第三二年法第六一號)ニ依リ關稅ニ關シ官吏ノ不當處分ニ對シテ大藏大臣ニ訴願スルコトヲ得ヘシ(第六八條)

行政訴訟ニ關シテハ行政裁判法(明治三三年法第四八號)及訴願法(明治三三年法第一〇五號)ハ何等ノ規定ヲ設ケスト唯慣例上之ヲ許與ス

第五 參政權

一國ノ政治ニ參與スルハ臣民ノ特權ニシテ本邦ハ外國人ニ參政權ヲ與ヘス又外國人ハ自治團體ノ公民タルコトヲ得ス故ニ外國人ハ本邦ノ官吏、公吏、委員トナルコトヲ得ス又各種議員ノ選舉權、被選舉權ヲ有セス其ノ本邦ニ歸化シタル後ト雖國籍法(明治三二年法第六六號)第一六條ニ依リ一定ノ期間特定ノ官公職ニ就クコトヲ許サレス

(參照)

憲法第一九條

國籍法第一六條、第一七條

衆議院議員選舉法(明治三三年法第七三號)第八、一〇條

市制(明治四四年法第六八號)第九、一〇條

町村制(明治四四年法第六九號)第七、八條

府縣制(明治三二年法第六四號)第六條

島嶼ノ府縣會議員選舉ニ關スル件(明治三二年勅第二二七號)第二條

北海道會法(明治三四年法第二號)第四條

北海道一級町村制(明治三〇年勅第一五九號)第五條

北海道二級町村制(明治三五年勅第三七號)第二〇條

商業會議所法(明治三五年法第三一號)第五條、第一二條

朝鮮商業會議所令(大正四年制第四號)第四條、第八條

第六 刑事關係

外國人ハ刑事法上内國人同様ノ待遇ヲ受ク犯罪ノ主體トシテハ刑罰ヲ科セラルルノ外其ノ客體トシテハ完全ナル保護ヲ享有ス但外國ノ元首其ノ家族及内國人ニ非サル從者、信認セラレタル外交

官其ノ家族及内國人ニ非サル雇員從者、本邦政府ノ承認ヲ經テ入り來レル外國ノ軍艦及軍隊ハ國際法ノ原則ニ依リ帝國刑法適用ノ限ニ在ラス

(參照)

刑法(明治四〇年法第四五號)

印紙犯罪處罰法(明治四一條法第三九號)第四條

司法警察規則附錄外國公使及公使館屬員ノ事(明治七年太政官達第一二八號)

俘虜處罰ニ關スル法律(明治三八年第三八號)

關東州罰金及笞刑處分令(明治四一年勅第二三六號)

監獄法施行規則(明治四一年司、省令第一八號)第一、二條

軍刑法(明治四一年法第四六、四八號)第四、七條

臺灣刑事令(明治四一年律第九號)

臺灣監獄令(明治四一年律第一〇號)第一條

第七 犯罪人及脱船人引渡

外國人犯罪者及脱船人ノ引渡ニ關シテハ左ノ條約及國內法アリテ對手國ノ請求ニ依リ一定條件ノ

下ニテ引渡スヘキコトヲ定ム

一 條約

日米犯罪人引渡條約(明治一九年勅)

日米追加犯罪人引渡條約(明治三九年勅)

日露犯罪人引渡條約(明治四四年條第一二號)

日英通商航海條約第二二條其ノ他ノ對外通商條約

二 國內法

逃亡犯罪人引渡條例(明治二〇年勅第四二號)

外國艦船乗組員ノ逮捕留置ニ關スル援助法(明治三二年法第六八號)

第二節 公法上ノ義務

第一 兵役ノ義務

在留外國人ハ公法上ノ義務ヲ負擔スルヲ原則トスルモ兵役ノ義務ヲ有セス各國トノ通商條約ハ兵役義務ノ免除ヲ規定ス例ヘハ日英通商航海條約第二條第一項ハ兩締約國ノ一方ノ臣民ハ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ陸軍、海軍、護國軍又ハ民兵ノ何レタルヲ問ハス總テノ強制兵役ヲ免レ且服役ノ

代トシテ課セラルル一切ノ買納ヲ免レ又強募公債、徵發又ハ取立金ニ付テハ不動産ノ所有者、賃借者又ハ使用者トシテ内國臣民ト均シク課セラルルモノヲ除ク外亦一切之ヲ免ルヘキヲ規定ス
(参照)

徵兵令(明治三十二年法第一號)第一條

日本帝國臣民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總テ兵役ニ服スル義務アルモノトス

第二 納税ノ義務

在留外國人ハ内國法ニ從ヒ内國人ト均シク納税ノ義務アルモノトス日英通商航海條約第一條ニ於テ財産ノ買得金及總テ動産ヲ輸出スルコトニ關シ又第二條ニ於テ服役ノ代トシテ一切ノ買納ヲ免レ又強募公債及軍事徵發又ハ取立金ニ關シ内國民待遇ヲ許與シ第七條ニ於テ輸入税ニ付テハ別國ノ生産品ニ適用セラルル最低率ノ關稅ヲ課スルコト第八條ニ於テ附屬稅表列記物品ノ關稅率ヲ定メ第九條ニ於テ輸出品ニ對スル課稅第十條ニ於テ通過稅第一條ニ於テ國家地方官廳又ハ自治體ノ利益ノ爲課セラルル内國稅第十九條ニ於テ噸稅、港稅、水先案内料、燈臺稅、檢疫費其ノ他之ニ類似スル税金又ハ課金ニ付規定ヲ爲ス

各種ノ稅法即チ營業稅法(明治三十九年法第三三號)、所得稅法(大正九年法第一二號)、登録稅法(明治三十九年法第二七號)、印紙稅法(明治三十二年法第五四號)、相續稅法(明治三十八年法第一〇號)、噸稅法(明治三十二年法第八八號)等ハ何レモ外國人ニ適用セラレ又輸出入ノ貨物ニ對シテハ關稅法(明治三十二年法第六一號)、關稅定率法(明治四三年法第五四號)及條約上ノ協定稅率ニ從ヒ納稅スヘキ義務アリ但永代借地權ヲ有スル外國人ハ其ノ借地及建物ニ對スル登録稅ヲ免除セラル(明治三十四年法第三九號第三條、家屋稅問題仲裁判決)

(参照)

朝鮮噸稅令(大正九年制第一八號)

臺灣噸稅規則(明治三十二年律第二二號)

稅關ニ於ケル内國稅賦課徵收ニ關スル件(明治三十八年勅第五六號)

關稅法及關稅定率法ハ大正九年勅第三〇六號ニ依リ朝鮮ニ施行セララル

關東州租借地稅關假規則(明治四〇年關、府令第三八號)

第三 其ノ他ノ義務

在留外國人ハ小學校令(明治三三年勅第三四四號)第三二條第三項ニ規定スル兒童ノ就學義務ヲ負

擔セス但外國人ハ其ノ志望ニ依リテ本邦官公立學校ニ入學スルコトヲ得

(參照)

文部省直轄學校外國人特別入學規程(明治三十四年文、省令第一五號)

支那人ヲ入學セシムル公私立學校ニ關スル規程(明治三十八年文、省令第一九號)

關東州普通學堂規則(大正一二年關、府令第一四號)

關東州公學堂規則(大正一二年關、府令第一三號)

種痘法(明治四二年法第三五號)

第二章 私法上ノ權利義務

外國人ハ完全ニ私法上ノ權利ヲ享有スルヲ原則トス外國人ハ法令又ハ條約ニ禁止アル場合ヲ除ク外私權ヲ享有シ(民法第二條)認許セラレタル外國法人ハ日本ニ成立スル同種ノ者ト同一ノ私權ヲ享有ス(民法第三六條)日英通商航海條約第一條第六號ニハ身體及財産ニ對シ常ニ完全ナル保護及保障ヲ享受スヘキコトヲ規定セリ又關東州及樺太ニ於ケル露國人ノ財産權ニ關シテハ露西亞國臣民ニシテ讓與地域ニ在留セムト欲スルトキハ日本國ノ法律及管轄權ニ服從スルコトヲ條件トシテ

完全ニ其ノ職業ニ從事シ且財産權ヲ行使シ得ヘキコトヲ規定ス(日露講和條約第一〇條)

財産權、親族權、相続權ニ分チテ說明セム(私法上ノ義務ハ省略ス)但法例(明治三一年法第一〇

號)國籍法(明治三二年法第六六號)ハ本章ト密接ノ關係ヲ有ス

(參照)

民法施行法(明治三一年法第一一號)

外國人又ハ外國法人ノ物權登記ニ關スル件(明治三三年法第七一號)

領事官職務規則(明治三三年勅第一五三號)第一一、一三條

第一節 財産權

第一 物權

現行民法ノ規定スル物權(占有權、所有權、地上權、永小作權、地役權、入會權、留置權、先取特權、質權、低當權)ノ外外國人永代借地權ニ關スル法律(明治三四年法第三九號)ニ依リ永代借地權ナル物權ヲ設定セリ

國內法上外國人ハ帝國臣民ト平等ニ各種ノ物權ヲ享有スルコトヲ得レト此等ノ物權享有ニ付條約上ノ保障アリヤ否ヤニ付テハ疑問アリ之ヲ沿革ニ徴スルニ明治二十九年四月四日調印ノ日獨通商

航海條約第三條第二項末段ニ於テ住居工業及商業ノ爲ニ土地ヲ借受クルコトヲ規定スルト共ニ是等規定ノ解釋ニ付右條約調印ノ際青木公使ト獨逸外務大臣トノ間ニ交換セル公文ニ依リ長期ノ借地權地上權其ノ他土地ニ關スル物權ヲ取得シ得ヘキコトヲ定メタリ又我國ハ條約實施ト同時ニ民法等ノ法律ヲ制定シ右公文中所載ノ物權ノ享有ヲ外國人ニ許與セリ然ルニ明治四十四年改竊セラル諸條約中ニハ此種長期ノ借地權ニ關シ何等明確ナル保障ヲ與ヘザリシモ一般動産及不動産ノ取得占有ニ關シ相互的最惠國待遇ノ規定ヲ設ケタリ(日英條約第一條第五號等參照)

(イ) 土地所有權

土地所有權ニ付テハ之ヲ勅令ニ依リテ指定セラレタル國ニ屬スル外國人ニ許與スル旨ノ法律(明治四十二年法第五一號)公布セラレタリ然レトモ同法ハ未タ實施セラルルニ至ラス且同法ニ豫想スル所謂指定國ニ關スル勅令未タ公布セラレス故ニ前記日英條約第一條第五號ノ規定ニ拘ラス外國人ハ總テ土地所有權ヲ享有セス又明治六年太政官布告第一八號第十一條「地所ハ勿論地券タリトモ外國人ヘ賣買質入書入等致シ金子請取又ハ借受候儀一切不相成候事」ハ有效ナルモノトス(民法施行法第九條)

臺灣ニ於テハ外國人ハ土地ヲ所有スルコトヲ得ス但シ外國人カ現ニ所有スル土地ハ此限ニ在ラ

ス(明治三三年律第一號)但シ外國人ハ本邦法人ノ社員タルヲ得ヘキニ依リ間接ニ土地所有權ヲ享有スルコトヲ得ヘシ

朝鮮ニ於テハ併合同國法令ニ依リ外國人ニ土地所有權ヲ許與セシカ帝國ハ同國併合ノ際既得權ヲ尊重スヘキコトヲ宣言セリ故ニ外國人ハ同地ニ於テ土地所有權ヲ享有スルコトヲ得又朝鮮ニ於テハ永代借地權ヲ土地所有權ニ變更スルコトヲ認ム故ニ外國人ハ其ノ永代借地權ヲ土地所有權ニ變更スルコトヲ得(大正三年制第一七號第二條)

(參照)

臺灣土地臺帳ニ支那人ヲ業主名義トスル場合ノ處分ニ關スル件(明治三九年律第九號)

(ロ) 永代借地權

永代借地權ハ條約(舊日英通商航海條約第一八條獨、埃、瑞西トノ公換公文)ニ依リテ創設セラレ外國人永代借地權ニ關スル法律(明治三四年法第三九號)ニ依リ確認セラレタル物權ニシテ一定ノ借地料ヲ支拂フ以外ニ以テ課稅セラルルコトナシ但シ臺灣及朝鮮ニ於テハ然ラス(朝鮮ニ於ケル土地所有權參照)

(參照)

永代借地權ニ關スル件(明治三十四年勅第一七八號)

外國人永代借地權ヲ帝國臣民取得ノ場合ニ關スル件(明治三十四年勅第一七九號)

政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノタメニ設定シタル永代借地權ヲ取得シ又ハ其ノ土地ノ所有權ヲ取得シタルトキ通知方(明治三十四年内、省令第二四號)

右通知ヲ受ケタルトキ土地臺帳登錄方(明治三十四年大、訓第三四號)

永代借地權ニ關スル件(大正三年制第一七號)

永代借地登記規則(大正三年朝、府令第五四號)

不動産登記法施行細則(明治三十二年司、省令第一一號)第四六條ノ二、七一條ノ二、三

永代借地及同地上建物ニ關スル登記取扱手續(明治三十四年司、省令第一五號)

永代借地及同地上建物登記ノ謄本抄本等請求手数料額(明治三十四年司、省令第一六號)

外國領事廳登記簿謄本ノ效力等ニ關スル件(明治三十二年律第四號)

同細則(明治三十三年臺、府令第三號)

臺灣永代借地權令(明治四五年律第一號)

同施行細則(明治四五年臺、府令第一三號)

永代借地及其ノ上ニ存スル建物登記規則(明治四五年臺、府令第一四號)

永代借地及建物登記簿謄本抄本ノ交付又ハ閱覽ノ請求手数料(明治四五年臺、府令第一九號)

(ハ) 質權、抵當權

質權及抵當權ニ關シテハ土地所有權ト同シク地所質入書入規則第一一條(前出)ニ依リ外國人ノ享有ヲ許サス然ルニ抵當權ニ付テハ明治二十九年調印ノ日獨條約ノ釋義ニ關スル外交文書ハ之カ享有ヲ宣明セルヲ以テ外國人ハ不動産抵當權ヲ享有スルコトヲ得タリシカ明治四十四年同條約ヲ廢棄シ右ニ關シ何等ノ保障ヲ設ケザリシ結果之ヲ享有シ得サルニ至レルモノト解ス但シ既得ノ權利ニ影響ナキハ勿論ナリ

(參照)

外國人抵當權ニ關スル法律(明治三十二年法第六七號)

第二 債權

債權ニ關シ外國人ハ民法第二條ノ原則ニ因リ内國人ト同様ノ待遇ヲ受ク民法第三編及關係法規ニ準據スルヲ要ス

法例第七條乃至第一二條ハ債權關係ニ付涉外の規定ヲ設ク

第三 智的財産權

(イ) 著作權

一八八六年「ベルン」ニ於テ締結セル著作權保護同盟條約アリ帝國ハ明治三十二年此ノ條約ニ加盟シ同時ニ條約ヲ基礎トスル著作權法ヲ制定セリ右條約及法律ニ依レハ外國人ハ帝國ニ於テ帝國臣民ト同様著作權ヲ享有ス又條約當事國ノ一ニ於テ得タル權利ハ本國法ノ保護期間ヲ超エサル範圍内ニ於テ帝國ノ保護ヲ受クヘシ但シ舊作物ヲ公ニセサル場合ニ於テハ著作權者ノ本國法ニ依ルヘキモノトス「ベルン」條約ハ其ノ後二回(一八九六年及一九〇八年)ノ改正ヲ經タリ是ニ依リ寫眞、彫刻物、建築意匠及樂譜ハ著作物ト同視セラレ新聞論說ノ無斷轉載ハ禁止セラレ翻譯權ノ保護期間ハ延長セラレタリ然レ共帝國ハ本條約ノ調印ニ當リ翻譯權ニ關シテハ舊條約ニ依ルベキコトヲ留保セリ

然ルニ米國ハ前記「ベルン」條約ニ加入セサル關係上帝國ハ同國ト別ニ著作權保護ニ關スル條約(明治三九年勅)ヲ締結シ兩締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ文學及美術ノ著作物並寫眞ニ付他ノ一方ノ版圖内ニ於テ其ノ國ノ臣民又ハ人民ニ許與セラレル保護ト同様ノ基礎ニ於テ不正ノ複製ニ對シ著作權ノ保護ヲ享有スヘク(第一條)且翻譯ハ著作權中ニ包含セサルモノトシ從テ認許ヲ

俟タスシテ翻譯シ且其ノ翻譯ヲ印刷シテ之ヲ公ニスルコトヲ得ヘキコトヲ規定セリ(第二條)

(參照)

著作權者不明ノ著作物ニ關スル件(明治三二年内、省令第二七號)

著作權ニ關スル登録手續(明治四三年内、省令第二三號)

著作權法ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件(明治四三年勅第三三八號)

支那ニ於ケル發明、意匠、商標及著作權ノ相互保護ニ關スル日米條約(明治四一年勅第五號)

(ロ) 工業所有權

一八八三年締結セル萬國工業所有權保護條約アリ明治三二年帝國モ亦之ニ加入シ之ニ基キ特許法(大正一〇年法第九六號)、意匠法(大正一〇年法第九八號)、實用新案法(大正一〇年法第九七號)及商標法(大正一〇年法第九九號)ヲ制定セリ

右條約及法律ニ依レハ條約當事國ノ臣民ハ帝國ニ於テ帝國臣民ト同様工業所有權ヲ享有ス條約當事國以外ノ國人モ條約當事國ニ住所ヲ有スルカ又ハ商工業ノ營業所ヲ有スルモノハ其ノ臣民ト看做サルヘキモノトス

工業所有權ニ關シテハ別ニ日露間ニ條約(大正元年條第一號)アリ締約國一方ノ臣民ハ發明特許

(改良特許ヲ含ム)、意匠(雛形ヲ含ム)及商標(製造標ヲ含ム)ノ權利ニ關シ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ其ノ國法ノ規定スル手數料及條件ニ遵由スルニ於テハ其ノ内國臣民ト同一ノ保護ヲ受クヘク右手續及條件ハ如何ナル場合ニ於テモ内國待遇ヲ爲スヘク且本國ニ於テ受ケタル權利ヨリモ廣汎又ハ長期ナル保護ヲ受クルコトヲ得サルヘキヲ規定セリ(第一條)

(參照)

特許法施行令(大正一〇年勅第四六〇號)

特許法施行規則(大正一〇年農、省令第三三三號)

特許登錄令(大正一〇年勅第四六一號)

特許登錄令施行規則(大正一〇年農、省令第三九號)

特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル手類料ノ件(大正一〇年勅第四六五號)

特許法施行規則、實用新案法施行規則、意匠法施行規則及商標法施行規則ニ依ル請求、申請及届出ニ關スル手數料ノ件(大正一〇年農、省令第三七號)

特許、實用新案及商標ニ關スル書類ノ閱覽ニ關スル件(大正一〇年農、省令第三八號)

特許、實用新案、意匠及商標ニ關スル明細書、説明書、圖面、雛形、見本及商標ノ印版ノ調

製心得(大正一〇年農、省令第三一〇號)

意匠ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件(大正一〇年勅第四六三號)

意匠法施行規則(大正一〇年農、省令第三五號)

意匠登錄規則(大正一〇年農、省令第四一號)

軍事上秘密ヲ要スル實用新案並實用新案ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件(大正一〇年勅第四六二號)

實用新案法施行規則(大正一〇年農、省令第三四號)

實用新案ノ登錄ニ關スル件(大正一〇年農、省令第四〇號)

商標ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件(大正一〇年勅第四六四號)

商標法施行規則(大正一〇年農、省令第三六號)

商標登錄規則(大正一〇年農、省令第四二號)

特許法、意匠法及實用新案法ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件(明治四三年勅第三三六號)

商標法ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件(明治四三年勅第三三七號)

關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ於ケル特許權、意匠權、商標權、實用

新案權及著作權ノ效力ニ關スル件(明治四四年勅第一六七號)

支那ニ於ケル工業所有權相互保護ニ關スル日露條約(大正元年條第二號)

支那ニ於ケル發明、意匠、商標及著作權ノ相互保護ニ關スル日米條約(明治四一年條第五號)

支那ニ於ケル發明、意匠、商標及著作權ノ相互保護ニ關スル日佛條約(明治四四年條第三號)

支那ニ於ケル工業所有權相互保護ニ關スル日本瑞典條約(大正六年條第一號)

第四 株式所有權

外國人ハ商事會社ノ株式ヲ所有スルコトヲ得ヘキヲ原則トス但多數ノ例外ヲ設ク日本銀行條例(明治一五年太政官布告第三二號)第五條、橫濱正金銀行條例(明治二〇年勅第二九號)第五條、朝鮮銀行法(明治四四年法第四八號)第五條、朝鮮殖産銀行令(大正七年制第七號)第四條、東洋拓殖會社法(明治四一年法第六三號)第三條、南滿洲鐵道會社ニ關スル明治三九年勅第一四二號第二條(但シ支那政府及支那人ハ株主タルコトヲ得)、臺灣電力株式會社令(大正八年律第一號)第六條ハ外國人ノ株主タルコトヲ禁止ス

(參照)

染料醫藥品製造獎勵法(大正四年法第二九號)第二條

染料醫藥品製造獎勵法施行規則(大正四年內、省令第一三號)第三條
同 (大正四年農、省令第二四號)第三條

第五 船舶所有權

船舶法(明治三二年法第四六號)第一條ハ日本船舶ト認ムヘキモノヲ列舉シ以テ外國人ノ日本船舶ノ所有權享有ヲ否認セリ從テ外國人ハ遠洋航路補助法(明治四二年法第一五號)、造船獎勵法(明治二九年法第一六號)ノ適用ヲ受クル能ハス

(參照)

日英通商航海條第一八條

船舶検査法(明治二九年法第六七號)

船舶検査法施行細則(明治三三年遞、省令第八七號)

外國船舶検査規則(明治三三年勅第四一四號)

朝鮮船舶検査令(大正三年制第八號)

同施行規則(大正三年朝、府令第六八號)

朝鮮外國船舶検査規則(大正三年朝、府令第六七號)

關東州船籍令(明治四四年關、府令第三五號)

關東州船舶検査規則(明治四四年關、府令第一五號)

船舶職員法(明治二九年法第六八號)

船舶職員法準用ノ件(大正元年勅第三一號)

亞米利加合衆國船舶ノ検査ニ關スル件(明治三九年遞、省令第四九號)

丁抹國船舶登簿噸數交互承認(明治二四年遞、省令第一五號)

難破船救助費用償還ニ關スル日支約定(明治三一年勅)

瑞諾國ト船舶積量互認取極條規(明治三五年遞、省令第一一號)

日蘭兩國間船舶積量測定證書互認ニ關スル外交文書(明治四五年、六、一五、官報)

船舶積量互認ノ件ニ關シ和蘭國政府ト取極條約(明治四五年遞、省令第三三號)

第六 航空機所有權

航空ニ關シテハ條約及議定書(大正一一年條第四號)並航空法(大正一〇年法第五四號)アリテ航空機ノ國籍ノ如何ニ拘ラス一定條件ノ下ニ其ノ無害航行ヲ許與ス但航空法ハ未タ實施セラルルニ至ラス

航空機ハ必ス一國ノ國籍ヲ有スヘク(條約第八條)而シテ日本ニ於テ登録セラレタル即チ日本國籍ヲ有スル航空機ノ所有權ハ之カ享有ヲ外國人ニ許與セサルモノトス(條約第七條航空法第二條)

第二節 身分權

第一 親族權

帝國法令ハ外國人ノ親族關係ヲ完全ニ保護セリ

法例第三條ハ「人ノ能力ハ其ノ本國法ニ依リ定ム」ト規定シ又法例ハ婚姻關係、夫婦財產制、

離婚、親子關係、後見及保佐及扶養ノ權利義務ニ付涉外の規定ヲ設ケタリ

外國人ノ本邦國籍取得及歸化ニ付テハ國籍法ハ要件效果ニ關シ數多ノ規定ヲ設ク

(參照)

戶籍法(大正三年法第二六號)

法人及夫婦財產契約登記取扱手續(明治三二年司、省令第一五號)第四、五條

外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲スノ件(明治三一年法第二一號)

同出願手續ニ關スル件(明治三二年內、省令第五一號)

國籍法(明治三十二年法第六六號)

第二 相續權

外國人ノ相續關係ニ於テモ又親族關係ト同シク之ヲ保護シ法例第二五、二六條ハ遺言、相續ニ關シ其ノ本國法ヲ適用スルコトヲ定メ又本邦對外通商條約例ハ日英通商航海條約第一條第五號ハ國法ニ依リ別國ノ臣民又ハ人民カ取得占有スルコトヲ得又得ルコトアルヘキ各種ノ動産及不動産ヲ相互ノ條件ニ依リ且常ニ該國法ノ定ムル條件及制限ニ反セサル限り取得占有スルノ完全ナル自由ヲ享有シ内國臣民ニ對シテ制定セラレ又ハ制定セラルルコトアルヘキ所ト同一ノ條件ニ依リ賣買、交換、贈與、婚姻、遺言其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ處分スルコトヲ得ヘキコトヲ規定ス又同條約第五條ハ兩締約國一方ノ臣民カ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ死亡シタル場合ニ死亡者ノ本國法ニ依リ相續財產ヲ收受管理スルノ權利ヲ有スル者其ノ地ニ在ラサルトキハ死亡者所屬國ノ當該領事官ハ必要ナル手續ヲ履行シタル上右死亡者財產所在地ノ國法ノ定ムル方法及制限ニ依リ該相續財產ヲ保管管理スルコトヲ得ヘク締約國一方ノ臣民カ他ノ一方ノ版圖外ニ於テ死亡シタルモ該版圖内ニ財產ヲ所有セル場合ニ相續財產ヲ收受管理スルノ權利ヲ有スル者右財產所在地ニ在ラサルトキハ亦同様ニ管理スヘク又死亡者ノ相續財產ノ管理ニ關スル一切ノ

EO

事項ニ付締約國ノ一方カ別國ノ領事官ニ現ニ許與シ又ハ今後許與スルコトアルヘキ權利、特典、恩典又ハ免除ハ締約國ノ他ノ一方ノ領事官ニ即時且無條件ニテ之ヲ及ホスヘキコトヲ規定ス

(參照)

行旅病人及行旅死亡人取扱法(明治三十二年法第九三號)第一七條

外國人タル行旅病人行旅死亡人及同伴者ノ救護並取扱特別(明治三三年内、省令第二四號)

明治三三年勅第三六五號(右明治三三年法第九三號臺灣施行)

外國人タル行旅病人行旅死亡人及同伴者ノ救護並取扱ニ關スル件(明治三二年臺、府令第一〇一號)

外國人ノ遺產處分ニ關スル手續(明治三二年司、省令第四〇號)

外國人ノ遺產ノ保存處分ニ關スル手續(明治三二年臺、府令第八六號)

第三節 外國法人

外國法人ノ一般的规定トシテ民法第三六條ハ法律又ハ條約ニヨリ認許セラレタル場合ヲ除キテハ國、國ノ行政區劃及商事會社ノ外外國法人ノ成立ヲ認許セサルコト及認許セラレタル法人ハ日本ニ成立スルト同種ノモノト同一ノ私權ヲ享有スヘキコトヲ明ニシ同第四九條ハ法人ノ登記ニ關ス

三四一

ル手續ヲ定メ商法第二五乃至二六〇條、商法施行法第九二條、非訴事件手續法(明治三一年法第一四號)第一四〇、二〇二乃至二〇五、二〇九條ノ二、商業登記取扱手續(明治三二年司、省令第一三號)第一、八、二一、四七、四八條ハ何レモ外國會社ノ登記ニ關スル手續ヲ規定セリ又法人及夫婦財產契約登記取扱手續(前出)ニ特別規定アリ

特別商事會社ニ關シテハ左ノ法令ヲ設ケタリ
銀行條例施行細則(大正五年大、省令第一〇號)
保險業法(明治三三年法第六九號)

外國保險會社ニ關スル件(明治三三年勅第三八〇號)

相互保險會社登記取扱手續(明治三三年司、省令第一八號)

外國相互保險會社登記簿謄本、抄本請求ニ關スル手数料額(明治三三年司、省令第三六號、臺、府令第一一七號)

擔保付社債信託法(明治三八年法第五二號)第一七條

同施行細則(明治三八年大、省令第三五號)第六、八條